

# I LOVE

# 始良ぶが 農業

第49号  
令和5年6月発行

編集・発行 / 始良・伊佐地域振興局 農林水産部 農政普及課 [ 始良市加治木町諏訪町12 ☎0995-63-8215 ]

農業者をはじめ、関係機関・団体の皆様におかれましては、かねてから当地域の農業改良普及事業の推進に御理解、御協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、農業を取り巻く情勢につきましては、農家戸数の減少や生産者の高齢化等による労働力不足、温暖化の影響や近年多発する気象災害による不安定な栽培環境、新型コロナウイルス感染症の拡大による需要動向の変化に加え、燃油や肥料など生産資材の高騰などにより、厳しい状況に直面しています。

このような中、県においては、本県農業の「稼ぐ力」を引き出すため、農業を支える多様な人材の育成・確保や農村の活性化などの「人づくり・地域づくりの強化」、ロボット技術、ICTなどの先端技術を活用したスマート農業の導入・普及や農産物の加工など6次産業化の取組による付加価値の向上などの「生産・加工体制の強化、付加価値の向上」、国内外市場のニーズに対応した農産物の販売対策と利用促進などの「販路拡大・輸出拡大」といった3つの項目を柱に、各般の施策を展開しています。

普及事業においても、これらの施策と連携しながら、地域農業・農村の課題解決に取り組んでいるところです。

新年度になり早2か月が経過しましたが、新体制の下、今年度も職員一丸となって始良地域農業・農村の振興に努めてまいりますので、更なる御理解、御協力をお願い申し上げます。

始良・伊佐地域振興局 農政普及課長 中村 一英

## 令和5年職員紹介

	課長 中村 一英	技術補佐 有馬 武統	技術補佐（普及担当）兼畜産普及係長 寺脇 志朗		
農業振興係	技術主幹兼農業振興係長 和合 由員	技術主査 鐵丸 浩幸	主事 川元 望	農業技師 福留 みずほ	主事 寺地 正徳
畜産振興係	畜産振興係長 福留 憲浩	技術主査 柴田 幸児	技術主査 川瀬 弘毅	畜産技師 村上 大策	
経営普及係	技術主幹兼経営普及係長 新村 嘉章	技術主査 仁田尾 百恵	技術主査 桑原 浩和	農業技師 長山 佳樹	
園芸普及係	園芸普及係長 小野田 剛	技術専門員 満吉 俊也	技術専門員 石原 美紀	技術主査 吉元 彰治	農業技師 古江 亜衣子
茶普及係	茶普及係長 遠矢 聡志	技術専門員 中村 憲知	農業技師 瀬戸口 一眞		
畜産普及係	(兼務)	技術主査 野元 浩和	農業技師 江崎 太樹		

# 始良市多用途米説明会にて，栽培技術研修を実施

令和5年4月21日に始良市蒲生公民館大ホールで，始良市農業再生協議会等が主催となった「加工用米取組説明会」，「WCS用稲取組説明会」，「飼料用米取組説明会」が開催され，延べ111人が出席されました。振興局では，水田フル活用に取り組んでおり，水稻の栽培技術研修を行いました。今回は，栽培時のポイントについて紹介します。

## 共通部分

- ✓ 水稻の主な病害虫  
いもち病，紋枯病，ごま葉枯病，ばか苗病，ウンカ類など
- ✓ イネクロカメムシについて  
稲の株元に生息し，葉鞘から吸汁・加害します。

## 加工用米

- ✓ 稲こうじ防除対策  
ケイテツ（300kgを3年に1回）＋モンガリット粒剤  
※出穂前処理より，田植え後の処理が望ましいです。

## WCS用稲（稲発酵粗飼料）

- ✓ 主食用米では使用可能でも，WCS用稲では使用できない農薬の存在  
令和5～6年度稲作こよみに掲載されている農薬のうち，ダブルカットバリダフロアブル，モンガリット粒剤，ノンブラストレバリダ粒剤DL，ダブルカットバリダトレボン粒剤3DL，ゴウケツモンスター粒剤は使用できません。（稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル（令和4年12月改訂）で令和5年4月17日確認）

## 飼料用米

- ✓ 播種量に注意  
品種によっては，種子が大きいので，ヒノヒカリと同量では種子数が不足します。
- ✓ 稲こうじ病対策  
稲こうじ防除対策として，ケイテツ（300kgを3年に1回）＋モンガリット粒剤  
※出穂前処理より，田植え後の処理が望ましいです。
- ✓ コスト低減策として  
粃水分が十分低下してからの収穫も可能ですが，倒伏や降雨には十分注意が必要です。



写真 飼料用米取組説明会

# 複式簿記入門講座開催のお知らせ

## 複式簿記とは？

簿記の記帳には単式（簡易）簿記と複式簿記があります。単式簿記では，経営管理に必要な財務内容を的確に把握出来ないため，振興局では複式簿記記帳を推奨しています。

単式簿記・・・収益，費用の発生を記帳（損益計算書）

複式簿記・・・収益，費用＋自身の資産の変化を記帳（損益計算書＋貸借対照表）

	複式簿記入門講座	パソコン簿記入門講座	パソコン簿記実践講座
開催日時	8月上旬，2日間予定	8月中旬，2日間予定	11月中旬～翌2月末
内容	・仕訳の把握 ・貸借対照表と損益計算書 ・記帳～決算整理の流れ ・決算整理について	・初期設定 ・日常の入力 ・決算時の入力	・実際の入力について

※ 対象者には，こちらから別途文書を送付します。参加を希望される方については，必ず事前にご連絡ください。（0995-63-8215）こちらから開催文書をお送りし，申し込みをした上での参加になります。

# サツマイモ基腐病対策 ＜本ぽの管理 ～植付後の初期防除～＞

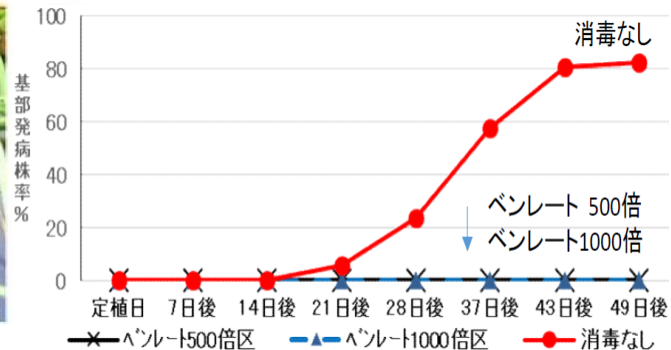
【ポイント1】 定期的にはほ場を巡回し、発病株を早期に抜き取りましょう！



葉の黄変



基部の黒変

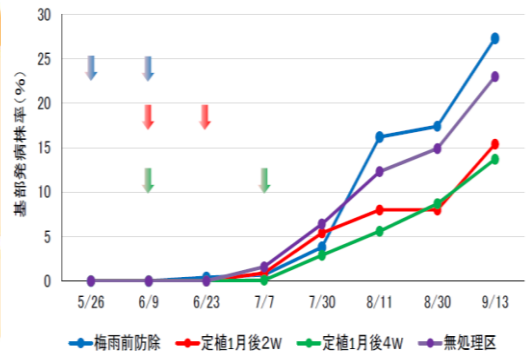


- ・ ベンレート水和剤等で消毒していない苗は、植付21日後には株基への発病が認められるので、植付21日後から定期的にはほ場を巡回し、早期発見に努め、株ごと抜き取りましょう。
- ・ 地上部の変色やしおれ症状が見られる異常株についても、株ごと抜き取りましょう。

【ポイント2】 予防のために定期的な予防散布を実施しましょう！

## 薬剤の散布例

土壌処理剤	苗消毒	1 回目	2 回目	3 回目
植付前	植付前	植付から35日頃	1回目から14日後	2回目から14日後
フロンサイドSC フロンサイド粉剤 を使ったら	ベンレート水和剤 による苗消毒	アミスター20 フロアブル 100L/10a	銅剤 200L/10a	トリフミン 水和剤 200L/10a
フリントフロアブル25 を使ったら	ベンレート水和剤 による苗消毒	トリフミン 水和剤 200L/10a	トリフミン 水和剤 200L/10a	銅剤 200L/10a



- ◎ 茎や葉が繁茂する生育旺盛期は、基腐病の症状に気づきにくく、発病株は密かに増えるので、植付35日頃から予防的に薬剤を散布しましょう。
- ◎ また、フリントフロアブル25を使用した場合は、アミスター20フロアブルは使用せず、トリフミン水和剤等を散布しましょう。
- ※フリントフロアブル25とアミスター20フロアブルは同じQol剤なので、連用で薬剤抵抗性がつきやすい。

農薬の名称	対象病害虫	希釈倍率 又は使用量	10aあたり 使用液量	使用時期	使用回数
アミスター20フロアブル	基腐病	2000倍	100～300ℓ	収穫14日前まで	3
トリフミン水和剤	基腐病	2000～3000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	2
ジーファイン水和剤(銅剤)	基腐病	1000倍	200～300ℓ	収穫前日まで	—
Zボルドー(銅剤)	基腐病, 斑点病	500倍	100～300ℓ	—	—

※本資料は生研支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業(01020C)」の成果を活用しました。

問合せ 始良・伊佐地域サツマイモ  
基腐病対策プロジェクトチーム  
事務局 始良・伊佐地域振興局  
農政普及課 TEL: 0995-63-8215



←より詳しい情報は  
←QRコードをチェック

リンク先: 鹿児島県HP  
「サツマイモ基腐病  
対策のポイント」



# 始♡LOVE和牛女子（女性農業者組織）の定期勉強会を実施

## 始♡LOVE和牛女子とは

霧島市，始良市，湧水町で畜産を営む女性たちが，全共を盛り上げようと結成したグループで，交流会や研修の場を創出し，鹿児島黒牛で地域を元気にすることを目的に，令和2年に設立したグループです。

（令和5年4月1日時点 会員数37名）



### 始♡LOVE和牛女子とは

肉用牛を生産している農業女子です。



県地域振興局事業【第12回全国和牛共進会あいらいおもてなし・PR事業】を活用し，全共で地産地消のおもてなし汁を提供するなど鹿児島黒牛をPRしました。



令和5年4月14日，始良・伊佐地域振興局で始♡LOVE和牛女子の若手が集まり，勉強会に向けた打合せを行いました。

会員の中には，

「子牛の下痢をなんとかしたい！」

「基本的な技術を学び，牛のことについて夫婦で話ができるようになりたい！」

「情報交換したい」

など，畜産の基本技術を習得し，自分の畜産経営に生かしたい会員が多いことから，本年度，月一回，畜産技術基本講座（勉強会）を開催することになりました。

第1回目は，5月24日に，「子牛の育成技術」をテーマに，子牛の月齢（子牛の胃袋の発達）に応じた草と飼料の給与割合などの基本技術について勉強会を実施しました。

参加者からは，「学んだ知識を生かして少しでも子牛を高く売りたい」という熱意や，「子牛の下痢対策どうしてる？」などのトークテーマで情報交換したり，有意義な会となりました。次回は6月21日に開催します。

農政普及課では，引き続き女性農業者組織の育成に向けた支援を行っていきます。



勉強会に向けた打合せ検討会の様子（4月）



第1回畜産技術基礎講座の様子（5月）